

「自然と人が共に作る不思議な明かり。その輝きが温かく心を包む。」

「作るだけにとどまらず、明かりがもたらす雰囲気も楽しむ」として自らの活動を「あかり遊び」と呼ぶ。「プラスチックや金属を加工した照明も素敵ですが、自然素材の存在感にはかなわない。自然の力を借りてこれからも明かりづくりを楽しみたいと思います」

「種を取って乾燥させたひょうたんに針で下穴を開け、さらに電気工具で穴を彫り、模様を描く。そしてそれを電球にかぶせて明かりをとます。譲り受けたひょうたんで試行錯誤した結果、この手法に行きついた。」最初に明かりをともしたときの感動は忘れられません。自然の持つ力に癒やされ、いつまでも眺めていたくなった。不思議な感覚でした」

「『あそこにあるよ』って。近所でひょうたんの栽培している人を教えてくれたんです。面白い材料が身近にあった。『これだ！』と思いました」

「ひょうたんは形が面白い。なぜ自然はこんなにも美しく、個性的な形を生み出せるのか。その魅力にひかれ、自然そのままの造形を生かした明かりづくりを楽しんでいます」と堀さんは話す。

「気分転換に部屋の照明を変えてみようかな」。明かりづくりのきっかけはそんな

大地の恵みをとます

暗がりにこぼれる
鮮やかな明かり。
一粒一粒の光は
炎のように揺らめき、
小さな宇宙を描き出す。

ひょうたんに小さな穴を開けて模様を描き、それで電球を覆う。なめらかな曲線から無数の明かりがこぼれて壁に光の渦を描く。



SUSUMU HORII

明かり作家
あかり遊び あかりずむ
堀 将さん
由利本荘市中館字堤台164
TEL.0184-65-2415

